

2024年4月23日

No. 4

運車部会情報

JR東労組運輸車両部会

発行責任者

三ヶ田 好幸

福知山線脱線事故から19年 安全哲学の再確立に向けてたたかいを創り出そう！

2005年4月25日、JR西日本福知山線脱線事故が発生し、運転士を含めて107名の方々が犠牲になりました。今年で19年が経過します。鉄道で働くものとして決して風化させてはいけません。背後要因として国土交通省航空・鉄道事故調査委員会(当時)が、**運転士にペナルティであると受け取られることのある日勤教育又は懲戒処分を行い(中略)同社の運転士管理方法が関与した可能性が考えられる。実践的な運転技術に関する教育を実現させるなど、精神論的な教育に偏らず、再教育にふさわしい事故防止に効果的なものとするべきと指摘しています。**

懲罰的な日勤教育では安全は守れない！

みなさんの職場ではこのような事が起きていませんか？

- 管理者によるハラスメント行為、人格否定の言動や不当労働行為はありませんか？
- 「主たる業務」に集中できる環境ですか？
- 安全よりも運行優先・利益優先になっていませんか？
- 職場で発生した事象が共有されていますか？隠ぺいやごまかしが蔓延していませんか？
- 何でも言い合える職場風土ですか？

**安全で安心して働ける職場風土確立に向けて
東労組に結集しよう！！**